

我孫子市国民健康保険短期人間ドック 標準検査項目の内容

- ◇ こちらの検査は、すべての実施医療機関の検査コースに含まれます。
- ◇ その他の検査項目は、各実施医療機関の検査コースによって変わります。

検査項目	内容	
問診	診察	結果説明
身体計測	身長 体重	
	腹囲	へその高さ周りを測定します。体脂肪には、皮下脂肪と内臓脂肪があり、内臓脂肪が過剰にたまると、体重が適正でも、糖尿病や心筋梗塞、脳卒中などを引き起こしやすくなります。
	体型指数 (BMI)	BMIは身長に見合った体重かどうかを判定する数値です。体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)で算出します。18.5未満だと低体重、25.0以上は肥満と判断されます。
循環器	血圧測定	高血圧のチェックをするための検査です。食事、肺活量、疲労度、緊張、興奮などいろいろな生活条件で変動します。
脂質検査	中性脂肪	体内の中でもっとも多い脂肪で、食べ過ぎ、飲み過ぎなどで高くなり、肥満の原因になります。数値が高いと動脈硬化を進行させます。
	HDLコレステロール	別名「善玉コレステロール」。血液中の悪玉コレステロールを回収します。数値が低いと脂質代謝異常、動脈硬化が疑われます。
	LDLコレステロール	別名「悪玉コレステロール」。増加すると血管の内側に付着してたまり、動脈硬化を進行させ、心筋梗塞や脳梗塞を引き起こす危険性を高めます。
肝機能検査	AST (GOT)	AST (GOT)は、心臓、筋肉、肝臓に多く存在する酵素です。ALT (GPT)は、肝臓に多く存在する酵素です。数値が高い場合は肝臓の病気が疑われます。AST (GOT)のみが高い場合は、心筋梗塞、筋肉疾患などが考えられます。
	ALT (GPT)	
	γ-GT (γ-GTP)	胆道系の肝臓障害を調べます。特にアルコールによる肝機能の障害があると急激に上昇します。
血糖検査 (糖代謝)	HbA1c	食事の影響をあまり受けずに糖尿病の診断ができる検査法です。約1ヶ月間にわたる平均的な血糖の状態がわかります。
	血糖値	糖尿病を調べる検査です。測定された数値により、ブドウ糖がエネルギー源として適切に利用されているかがわかります。
尿検査	尿糖	尿に糖が出ているかどうかを調べ、糖尿病の診断に役立てます。
	尿蛋白	尿に蛋白が出ているかどうかを調べ、腎臓等の異常を知る手がかりとします。
眼科検査	眼底検査	肉眼で唯一、動脈の状態を観察できる場所で、高血圧や動脈硬化の程度を調べます。